

2024 4 April

クリスティアン・アルミンク音楽監督就任披露公演

4.14(日) 14:00開演 広島交響楽団 一般公演

Sun. 14 April, 2024 14:00 Hiroshima Symphony Orchestra



©Shumpei Ohsugi

指揮: クリスティアン・アルミンク

(広島交響楽団音楽監督/2024～) Conductor: Christian Arming, Music Director

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番変ホ長調Op.73「皇帝」
リヒャルト・シュトラウス (生誕160周年): アルプス交響曲 Op.64

Beethoven: Piano Concerto No.5 in E-flat major Op.73 "Emperor"
Richard Strauss: An Alpine Symphony Op.64



©Gabriela Brandenstein

ピアノ: ティル・フェルナー
Piano: Till Fellner

高みへ、アルミンク・広響 始動

アルプスの神秘的な夜明けが〈アルミンク・広響〉の門出を祝福する。壮大なシンフォニーの幕開け。大自然への崇拝に隠されたリヒャルト・シュトラウスの思いとは、リヒャルト・シュトラウスの「アルプス交響曲」はパンダ(舞台外奏者)も要する大編成の大曲(単一楽章で約50分)で、演奏会で聴ける機会は貴重。そして、楽聖ベートーヴェンがウィーン居住時、ウィーンを包囲したナポレオン軍が市内を砲撃する中でも書かれ、圧倒的な名作として聴衆を魅了する「皇帝」。世界が注目するピアニスト、フェルナーの神業テクニックと研ぎ澄まされた感性でベートーヴェンの素顔に迫る。

2024 6 June

6.23(日) 16:00開演 京都市交響楽団 一般公演

Sun. 23 June, 2024 16:00 City of Kyoto Symphony Orchestra



©Yuriko Takagi

指揮: 井上 道義

Conductor: Inoue Michiyoshi

合唱: 京響コーラス
Chorus: Kyoto Symphony Chorus

ショスタコーヴィチ: チェロ協奏曲第1番変ホ長調Op.107
チェロ協奏曲第2番ト長調Op.126
交響曲第2番ロ長調Op.14「十月革命」

Shostakovich: Cello Concerto No.1 in E-flat major Op.107
Cello Concerto No. 2 in G major Op.126
Symphony No.2 in B major Op.14 "A dedication to October"



©James McMillan

チェロ: アレクサンドル・クニャーゼフ
Violoncello: Alexander Kniazev

井上道義、ラスト京響定期はショスタコーヴィチ祭り!
盟友クニャーゼフとの共演も聴き納め!

ショスタコーヴィチ三昧の定期。現代ロシアのチェロ界を代表するアレクサンドル・クニャーゼフによるチェロ・コンチェルト2曲。どちらも30分を超える大作。第1番はプロコフィエフのチェロとオーケストラのための交響的協奏曲を聴いた時に受けた衝撃から生まれ、4つの楽章から構成(コンチェルトの楽章は通常は3つ)されている。プロコフィエフへの挑戦のような仕上がりの第1番はチェロの名手ロストロポーヴィチに捧げられ、彼が初演も行った。7年後に完成した第2番はもう他の作曲家を意識せず、ショスタコーヴィチ独自の出来上がりとなった。心の底から湧き出るような始まりの第1楽章、第2楽章スケルツォ〜第3楽章フィナーレと連続で演奏される。皮肉っぽいショスタコーヴィチ独特の作風とホルンによるファンファーレで始まる第3楽章は華々しくも印象的。そしてエンディングは独奏チェロと打楽器の奇妙なやり取りで幕を閉じる。交響曲第2番は十月革命の10周年記念日を讃えるため作曲された。混沌とした「序奏」から始まり、フーガを経て混声合唱が入る「コーダ」へと進む。京響コーラスが共演。井上道義、ラスト・イン・京響。お聴き逃しなく!

2024 9 September

9.23(月・休) 16:00開演 京都市交響楽団 一般公演

Mon. 23 September, 2024 16:00 City of Kyoto Symphony Orchestra



©Florian Hammerich

指揮: 阪 哲朗

Conductor: Ban Tetsuro

9.24(火) 14:00開演 京都市交響楽団 中学生招待公演

Tue. 24 September, 2024 14:00 Concert only for Junior High School students

ドヴォルザーク: 交響曲第8番ト長調Op.88
ブラームス: ハンガリー舞曲集より第1番、第4番、第5番、第6番、第7番、第10番
ドヴォルザーク: チェコ組曲ニ長調Op.39

Dvořák: Symphony No.8 in G major Op.88
Brahms: Hungarian Dances - Nos. 1, 4, 5, 6, 7 & 10
Dvořák: Czech Suite in D major Op.39

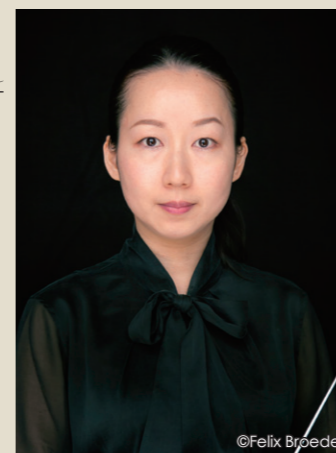
ブラームス、ドヴォルザークと阪哲朗

ドヴォルザークの才能を称えていたブラームスは、この若く貧しい作曲家を援助するため、作曲を委嘱したり、出版社を紹介したりしていたらしい。ハンガリー舞曲集がヒットしたブラームス。出版社はスラヴ舞曲集の作曲をドヴォルザークに勧め、これも見事にヒット。こうして世に出たドヴォルザークは、偉大なる老作曲家ブラームスとの交流を通じて、お互いがとても似ていることに気づいて驚きと戸惑いを覚えたそう。指揮は、2023年4月からびわ湖ホール芸術監督を務める阪哲朗。ドイツを中心に数多くの劇場でオペラを指揮し、その豊富な経験と知識で世界レベルのオペラ、オーケストラ・プログラムを日本で上演することに意欲を燃やしている。ブラームスとドヴォルザーク、似たもの同士2人の作品からお互いを称え合うような面目躍如のプログラムと言えるだろう。

2024 11 November

11.17(日) 16:00開演 京都市交響楽団 一般公演

Sun. 17 November, 2024 16:00 City of Kyoto Symphony Orchestra



©Felix Broede

指揮: 沖澤 のどか

(京都市交響楽団常任指揮者/2023～) Conductor: Okisawa Nodoka, Chief Conductor

11.18(月) 14:00開演 京都市交響楽団 中学生招待公演

Mon. 18 November, 2024 14:00 Concert only for Junior High School students

2025 2 February

2.7(金) 14:00開演 広島交響楽団 中学生招待公演

Fri. 7 February, 2025 14:00 Concert only for Junior High School students



©Yasuo Fujii

指揮: マティアス・バーメルト

Conductor: Matthias Bamert

2.8(土) 14:00開演 広島交響楽団 一般公演

Sat. 8 February, 2025 14:00 Hiroshima Symphony Orchestra

2025 3 March

3.9(日) 14:00開演 広島交響楽団 一般公演

Sun. 9 March, 2025 14:00 Hiroshima Symphony Orchestra



指揮&ピアノ: ウェイン・マーシャル

Conductor & Piano: Wayne Marshall

3.10(月) 14:00開演 広島交響楽団 中学生招待公演

Mon. 10 March, 2025 14:00 Concert only for Junior High School students

ブラームス: セレナード第1番ニ長調Op.11
ベートーヴェン: ヴァイオリン協奏曲ニ長調Op.61

Brahms: Serenade No. 1 in D major Op.11
Beethoven: Violin Concerto in D major Op.61



©Sebastian Orr

ヴァイオリン: ジョシュア・ブラウン
Violin: Joshua Brown

沖澤のどかのブラームス「セレナード 第1番」、そしてジョシュア・ブラウンのベートーヴェン

ブラームスのセレナードは、ハイドン研究の成果を反映しようとしたためか、ブラームスの曲想からかけ離れ、あまり演奏されることはない。しかし、陽気なメロディと明るい雰囲気は若きデモルト時代、宮廷のお抱えの作曲家で生活にゆとりがあり精神的に安定したブラームスをとてても良く感じられる。この第1番は6楽章からなっており、ブラームスらしいキャッチーな旋律が各楽章に現れる。特に第4楽章メヌエットはTVドラマでも使われたので皆様も一度は聴いたことがあるのではないだろうか。ジョシュア・ブラウンは新進気鋭のヴァイオリニスト。シカゴ音楽院、ニューイングランド音楽院で学び、15歳の時にクリーブランド管弦楽団にデビュー。2016年ストラディヴァリウス国際ヴァイオリン・コンクールで最優秀賞を受賞。2019年第10回レオポルト・モーツァルト国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。他にも様々なコンクールで優勝を果たし、「ソウルフルで繊細」、「中毒になるくらいに惚れま」と評された、23歳の俊英の登場!秀作ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を、若きソリストとマエストロによる新鮮な現代の演奏でお楽しみください。

チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲ニ長調Op.35
交響曲第5番ホ短調Op.64

Tchaikovsky: Violin Concerto in D major Op.35
Symphony No.5 in E minor Op.64



©Victor Marin

ヴァイオリン: 金川 真弓
Violin: Kanagawa Mayumi

～ロシア《孤高の作曲家》～

オペラ、バレエから独奏曲まで叙情的で美しく物憂げな旋律と和声で数々の名作を残したロシアを代表する作曲家チャイコフスキーに焦点をあてる。スイスの名匠バーメルトを迎えて、2019年チャイコフスキー国際コンクール第4位、18年ロン=ティボー国際音楽コンクール第2位および最優秀協奏曲賞を受賞した金川真弓とお贈りするプログラム。

ガーシュウィン: 「ストライク・アップ・ザ・バンド」序曲
ラプソディ・イン・ブルー
キューバ序曲
セカンド・ラプソディ (オリジナル版)
ガーシュウィン (ベネット編曲): 交響的絵画「ポーギーとベス」

Gershwin: Strike Up the Band Overture
Rhapsody in Blue
Cuban Overture
Second Rhapsody (Original Version)
A Symphonic Picture "Porgy and Bess" (arr.: Bennett)

～ガーシュウィン! ガーシュウィン!～

オルガン・ピアノ、そして指揮者として才能を開花させたウェイン・マーシャルがベルリンフィルの野外コンサートを指揮したのが2021年のこと。そして今回、日本デビューを広島で飾ることとなった。演目にも拘った「オール・ガーシュウィン・プログラム」を披露する。特に「ラプソディ・イン・ブルー」と「セカンド・ラプソディ」の2曲でソリストを兼任するのもマーシャルならではのサービスである。シーズンを締めくくる大トリとして、POPSIに定評のある広響がノリノリの演奏で楽しませてくれるに違いない。